

第1回宗像市行財政改革推進委員会 議事録（要約）

日時	平成24年5月30日（水）15時30分～	会場	201会議室
委員	■郷司 正和 ■相良 敬 ■橋本 祐子 ■宗像 優 ■山下 恵美子 （50音順、敬称略）		
市	■宮部副市長 ■鳥巢経営企画部長 ■中野経営企画課長 （事務局：経営企画課） ■衣笠 ■狩野 ■赤田		

1 副市長あいさつ

2 委嘱状交付

3 自己紹介

4 会長及び副会長の選任

5 委員会の予定

6 協議

(1) 行政経営改革プラン平成23年度実施結果について

第2次行財政改革大綱に基づいて取り組んでいる行政経営改革プランについては、当初、全123プランであったが、プランの統合に伴い、プラン数は122プランに変更。そのうち、平成23年度に着手予定であった118プランについて実施結果を取りまとめたので、その概要について事務局から説明する。

説明は、人事・組織の改革に係るもの（10プラン）、サービスとシステムの改革に係るもの（64プラン）、財政の改革に係るもの（44プラン）の順に行う。

委員の皆さんから忌憚のない意見をいただきたい。

●プラン全般について

【委員】「その達成度を選んだ理由」欄は説明が抽象的で理解しがたいので、箇条書きで具体的に記入してはどうか。さらに、次年度以降の取組内容も明記したほうが、取組の実効性が向上するのではないか。

⇒ 達成度の表記については、次年度以降は指摘のとおり箇条書きとする。次年度の取組みについては達成度の欄で表記するように、次年度から実施する。

【委員】文字サイズが小さい。「※達成度について」欄を削除し、文字サイズを大きくしてほしい。

⇒ 公表の際は文字サイズを大きくしたい。

【委員】評価が甘いのではないか。市長等幹部クラスや行革委員会の評価があったほうがよりシビアにできるのではないか。

⇒ 経営企画課が達成度の判定をチェックして、行革委員会の提言を受けて、行革本部で決定するという流れである。

【委員】「年次改革計画」欄に「→」が目立ち具体的ではない。

⇒ 策定時に具体的に表記しているものと具体的でないものがある。具体的でないものについては検討したい。

【委員】委員会の任務について、どこまで求められていて、どこを評価すればいいのか、122項目を1日で見るとなると、総括的な評価となるのか。

⇒ 総括的な評価ではなく、各プランに対する意見をいただきたいのが趣旨。

【会長】少なくとも「C」「D」評価分については、次年度以降どうするかを示す必要があるのではないか。

⇒ 「C」「D」評価分については、年度当初の予定、実施した内容、次年度どうするかを具体的に記入するよう検討したい。

【委員】「年次改革計画」「年次改革効果」欄を削除して、具体的な内容を充実させてはどうか。

⇒ 記載内容の詳細は検討する。

●人事・組織の改革（プランNo.1～10）

事務局から各プランの実績、達成度、改革効果等について説明。その後、各委員から質疑、意見。

◆プランNo.1『育成型人事制度の確立』、プランNo.2『職員研修の充実』

【委員】両プランの目的は職員の能力アップであるため、プランをまとめることはできないか。

⇒ 目的は同じであるが、進行管理のために分けている。人事課と協議したい。

◆プランNo.2『職員研修の充実』

【委員】「能力向上につながった」と判断した根拠は何か。

⇒ 人事課と協議して根拠を明確にする。

◆プランNo.6『期限付任用職員等の活用』

【委員】プランの具体的な内容はなにか。

⇒ 文書事務が多い教育委員会において、課をまたがって任期付職員を活用するという内容であるが、各課の事務内容が多岐にわたるため、また、事務処理の際に判断を要する内容も含まれるため、課内

での活用にとどまった。

【委員】庶務に関する作業標準書（マニュアル）を作成して取り組んではどうか。

⇒ マニュアル整備等によりプラン達成できるよう、次年度以降の取組として検討する。

●サービスとシステムの改革（プランNo.11～30）

引き続き、事務局から各プランの実績、達成度、改革効果等について説明。その後、各委員から質疑、意見。

◆プランNo.16『相談窓口の充実』

【委員】相談窓口の場所が頻繁に変わっているが、もっと利用しやすい場所はないのか。

⇒ 周囲の目を気にせず相談者が気軽に相談できる環境に配慮しているため、わかりにくい場所にある。案内表示の充実で対応したい。

◆プランNo.19『市税のコンビニ収納』

【委員】コンビニ収納よりも口座振替のPRの方が有効ではないか。

⇒ プランNo.19『市税のコンビニ収納』の目的は「収納率向上」ではなく、「利便性向上」のプランである。口座振替の促進は従前から行っているのでプラン策定していない。

◆プランNo.21『公共施設駐車場の休日開放』

【委員】もともと学校施設での実施はセキュリティ上難しいのではないかと考えられ、達成度「B」という判定は厳しいのではないか。

⇒ 当初計画時の対象が不明確であるため、達成度が「B」となった。

◆プランNo.22『庁内サインの見直し』、プランNo.23『時間外の電話応対』

【委員】担当課は財政課であるが、本来は総務課が担当するべきではないか。

⇒ 庁舎管理という視点で財政課が作成したプランである。プラン達成に向け、今後財政課で各サービス内容を把握できるようにしていく。

◆プランNo.25『介護保険課 Q&A の整理と活用』

【会長】個人情報保護を考慮しての結果ならば、達成度「B」という判定は厳しいのではないか。

⇒ 今後は個人情報保護を考慮し、ホームページ上の公開を行う。

【委員】個人情報等の事情も加味して、担当部署が迷わない判断基準、計画設定が必要ではないのか。

⇒ 「個人情報保護に支障がない範囲内」といった条件付プランという形で検討したい。

●サービスとシステムの改革（プランNo.31～60）

引き続き、事務局から各プランの実績、達成度、改革効果等について説明。その後、各委員から質疑、意見。

◆プランNo.32『公園の長寿命化』

【委員】調査検討から計画策定までの時間がかかりすぎではないか。

⇒ 補助事業の要件として、公園の調査・点検が必要であり、計画策定まで時間を要する。

◆プランNo.40『宗像市保健福祉会館（ゆうゆうぷらざ）の管理運営の見直し』

【委員】廃止決定から次の利用までの期間が空きすぎではないのか。

⇒ 廃止して売却という方針は決定したが、行政財産から普通財産に切り替えるという法令上の手続のため、期間が空くことになる。

◆プランNo.42『議会関係の映像配信』

【委員】配信件数の減少は、委員会等の件数自体が減少したのか。

⇒ 本会議や議案数の減少によるものである。

◆プランNo.47『観光ホームページの充実』

【委員】観光プラットフォームの具体的にどのような内容なのか。

⇒ 広告代理店を入れて実施している。着地型旅行商品とは旅行地が考えた旅行パッケージということ。

【委員】ホームページのあり方、情報の発信の仕方について熟慮すべきではないか。

⇒ 新規プランで提案できるか商工観光課と協議する。

◆プランNo.50『収納場所の有効活用』

【委員】（プランに関連することとして）各課カウンターに設置している資料はどれだけ活用されているか。不良在庫が相当数あるのではないか。

⇒ 指摘された在庫は存在する。倉庫に限らずカウンターの整理整頓という点で財政課と協議する。

●サービスとシステムの改革（プランNo.51～77）

引き続き、事務局から各プランの実績、達成度、改革効果等について説明。その後、各委員から質疑、意見。

◆プランNo.56『e-Tax（国税電子申告・電子納税）の普及促進』

【委員】e-Tax 利用率の定義はなにか。

⇒ 市内の確定申告書の全提出件数に対する、e-Tax 申告書件数の割合である。

◆プランNo.61『コミュニティ施策と協働の推進』

【会長】達成度の理由の文面は「検討を行った」と読み取れるが、活性化したといえるのか。
⇒ コミュニティ課と確認・協議する。

◆プランNo.66『広報紙1日号編集・制作業務の外部への委託』

【委員】1名削減したのであれば、効果額も記載すべきではないか。
⇒ 人事課プランの数値に含まれるので、個別プランの効果額については理由欄に記載する。(プランNo.65『犬の集団予防注射実施時における注射済票及び鑑札交付事務の協働委託』も同様)

◆プランNo.71『CM（コンストラクションマネジメント）方式の検討』

【会長】年次改革計画に掲げている「検討」は実施しているので、達成と思われるが、「C」と判定した理由はなにか。
⇒ CM方式の導入が厳しいということで「C」である。記載内容が不十分なので確認する。

◆プランNo.72『市営住宅の指定管理者制度への移行の検討』

【会長】目標が2つあり、うち1つを達成してない状況だが、同様のプランとの判定にばらつきがある。横断的な判定基準が必要ではないか。
⇒ 「指定管理者制度への移行による市民サービスの向上」も「職員削減」も達成できていないため「D」となった。
指摘のとおり、判定基準に少しばらつきはある。

※財政の改革（プランNo.78～123）は次回実施。

(2) 行政経営改革プラン新規プランについて（※次回実施）

7 その他